

目黒区人権に関する意識調査 報 告 書

令和8年3月

目黒区

はじめに

目黒区は、基本構想実現のための区政運営方針の一つとして「平和と人権・多様性の尊重」を掲げ、すべての区民が互いに尊重し合える包摂的な地域社会の実現を目指しています。これまで、部落差別、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、感染症患者など、多様な人権課題に対応し、区民の理解を深める啓発施策を継続的に展開してきました。

また、令和7年度の行財政運営基本方針においても区政運営の基本姿勢の一つとして「平和への貢献と人権・多様性を尊重する地域社会の実現」を掲げ、人権に関する意識調査、障害者参加型防災訓練、手話普及事業、戦後80年を契機とした平和記念事業など、地域に根差した施策を積極的に推進しています。

本報告書は、平成18年度・平成25年度・平成30年度に続く四回目となる「目黒区人権に関する意識調査」の結果を取りまとめたものです。今回の調査では、インターネット回答方式を本格導入し、18歳以上の区民3,000人を対象に実施しました。回答の受付にあたっては、対象者の希望に応じて従来の郵送方式にも対応し、インターネットによる回答が困難な方も含め、より幅広い区民の声を反映できる環境を整えました。

調査結果からは、区民の人権意識の高さがうかがえる一方、いじめや虐待、インターネット上の誹謗中傷、障害者や外国人への差別、性的マイノリティへの偏見、部落差別など、人権侵害が依然として存在することが明らかになりました。こうした課題は潜在化しやすく、被害者が声を上げにくい状況も見られます。

今後は、人権教育や相談体制の充実、情報リテラシー向上、共生社会の推進など、行政と区民が一体となった取組が不可欠です。本調査で把握した区民の人権意識や課題は、差別や偏見のない目黒区を実現するための重要な指針となります。区民の皆様や関係団体におかれましては、本報告書の人権課題への理解促進や施策形成、コミュニケーションの一助としてご活用いただければ幸いです。

最後に、調査にご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。

令和8年3月

目黒区長 青木 英二

＊ 目 次 ＊

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 調査内容	3
4 回収結果	3
5 設問項目	4
6 調査結果の見方	5
7 他調査との比較について	5
8 標本誤差	6
第2章 調査結果の概要	7
1 回答者の属性	9
2 調査結果の傾向	11
第3章 調査結果	23
1 人権問題全般について	25
問1 人権への意識	25
問2 周囲の人とともに、差別的な行動や発言をした経験	28
問3 不当な扱いや劣等感等から、差別的な行動や発言をした経験	31
問4 自分や家族の「人権」が侵害されたと感じたこと	34
問4-1 最もひどい人権侵害への対応	40
問5 現在の社会に存在する人権侵害	43
問6 差別解消に関する法律の認知状況	69
問7 公益通報者保護制度の認知	71
2 男女平等に関する意識について	73
問8 「性別役割分担」の意識	73
問9 女性が職業をもつことについての意識	76
問10 男女平等の認識	80
問11 セクシュアル・ハラスメントを受けた経験	92
問11-1 セクシュアル・ハラスメントを受けた場所	95
問12 女性の人権が守られていないと思うこと	97

問 13	女性の人権を守るために実施すべきこと	100
3	子どもの人権について	104
問 14	区制定条例の認知	104
問 15	子どもの人権問題で、特にひどいと思うこと	108
問 16	地域で子どもが保護者等から虐待されている場合の対応	111
問 17	「子どもを一人の人間として尊重する社会が望ましい」 という考え方への賛否	114
問 18	子どもの人権を守るため、大人たちがすべきこと	117
4	高齢者の人権について	120
問 19	高齢者の人権が守られていないと思うこと	120
問 20	「高齢者も他の人々とともに地域の中で暮らしていける社会が望ましい」 という考え方への賛否	123
問 21	高齢者の人権を守るために実施すべきこと	126
5	障害者の人権について	129
問 22	障害者の人権が守られていないと思うこと	129
問 23	共生社会の賛否	132
問 24	障害者の人権を守るために実施すべきこと	135
6	部落差別（同和問題）について	138
問 25	部落差別（同和問題）の認知状況	138
問 26	被差別部落（同和地区）の認知状況	141
問 26-1	被差別部落（同和地区）の認知時期	144
問 26-2	被差別部落（同和地区）の認知機会	147
問 26-3	「被差別部落」「同和地区」という言葉の印象	150
問 27	親しい隣近所の人が「被差別部落（同和地区）」出身 であるとわかった場合の対応	153
問 28	身内の結婚相手が「被差別部落（同和地区）」出身である場合の対応	156
問 29	子どもの結婚相手が「被差別部落（同和地区）」出身である場合の対応	159
問 30	採用試験の際に行われる身元調査への意識	162
問 31	勤めている会社で身元調査をしている場合の意識	165
問 32	部落差別（同和問題）解決のために今後実施すべきこと	168
7	外国人の人権について	172
問 33	外国人の人権問題で、特にひどいと思うこと	172
問 34	外国人（自分とは異なる国籍・民族）が隣に引越してきた場合の対応	175
問 35	外国人の人権を守るために必要なこと	178
問 36	ヘイトスピーチに対する認識	182
8	感染症と人権について	184
問 37	「感染症の感染者・患者等を差別することなく、ともに社会の中で 生きていくことが望ましい」という考え方への賛否	184

問 38	感染症の感染者や患者等の人権を守るために、行政が実施すべきこと	186
9	インターネットに関する人権上の問題点について	188
問 39	インターネットで人権上問題があると思うこと	188
問 40	インターネットによる人権侵害を防ぐために必要なこと	191
10	性的マイノリティに関する人権について	194
問 41	性的マイノリティを理由とする人権問題で特にひどいと思うこと	194
問 42	性的マイノリティの人権を守るために実施すべきこと	197
11	人権尊重社会の実現について	201
問 43	10 年前と比べた区民の人権意識の状況	201
問 44	人権を尊重する社会を実現するために必要な取組	204
第 4 章 調査結果をふまえて		209
資料編		217